



外国にルーツがある人々への支援活動応援助成第5回

2024年10月～2025年9月 MAIKEN活動報告

外国にルーツがある人々 への支援活動応援助成

「赤い羽根 ポスト・コロナ（新型感染症）社会に向けた福祉活動応援キャンペーン」の一環として、「新型コロナウイルス感染下において困窮する人々を支援する外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」第5回のご支援を受け、5年に渡る助成金を頂き、継続して在日ラテンアメリカ系住民の方々、外国籍の方々、ウクライナ避難民の方々など、地球上の様々な国から日本に来た外国にルーツを持つ方々へ、医療専門家による健康相談会を開催することができました。

2020年度から外国籍住民集住地区で定期的・継続的に活動が出来た事は、ひとえに皆様の温かいご寄付と採択してくださいました中央共同募金会様のおかげです。みなさまに心より感謝を申し上げると共に、全ての方々のお心を励みに、今後一層努力して活動を続けて参ります。

Dia 13 de setembro atendimento médico e Psicológico em Shiga Ken Konan shi

Atendimento gratuito

NPO Maiken são médicos itinerantes que ajudam a comunidade latina no Japão

- Consulta de clínica geral
-Consulta psicológica
-Exame de Chagas
-Exame de diabetes...
-Palestra sobre saúde
- Bazar
-Massagem relaxante
- Barbeiro - corte de cabelo masculino

MAIKEN
NONPROFIT ORGANIZATION
NPO法人 MAIKEN

Nippon Avivamento Konan
Endereço: Shiga Ken, Konan shi Chuo 3-19-2 T 520
Horário: 10:00h às 16:00h

SuzuKame Amigos

Mais uma atividade concluída com sucesso e muita ajuda da nossa comunidade onde pessoas de várias nacionalidades inclusive ajuda de japoneses

Para as pessoas presentes nossos sinceros agradecimentos e nos vemos em Shiga em breve com atividades médicas e bazar.

A todos nosso muito obrigado!

今年度で5年となるラテンアメリカ系集住地区における身体とこころの無料健康相談会は、外国籍住民の方が健康で安心して生活するための暮らしを支える不可欠な活動となっていることが実感できた1年でした。相談会は地域の1年の行事の中に組み込まれ、開催日の数か月前から現地で準備を進めるようになっていて、地域の外国籍の方が積極的主体的に関わるイベントに変化しています。

医療専門家もコミュニティリーダーも支援が必要な方も同じ目線で、お互いがお互いを支え合う絆がより一段と強くなりました。

第5回の活動では現地での健康相談会（東海地区、群馬県等ラテンアメリカ系住民集住地区）計22回実施、オンライン相談15回を実施しました。

現在相談会はSNSや口コミで他府県にも広がり、相談者に加え各地域を支えるキーパーソンの方の見学も多く、母国語で相談ができる場所は自分たちの住んでいるところにはないので、ぜひ相談会を開催してほしいという希望が多く寄せられました。

相談会には日本人も多く来場するようになり、他県の多文化共生 NPO の見学や行政機関、労働組合、市の防災担当など様々な分野の専門家の参加があり、行政機関ん位地域の中で暮らす外国籍の方の暮らしを知つてもらうきっかけ作りができました。今後は協力して支援活動できるネットワークも広がり、一団体では支えきれない問題を共有して解決が図れ、支援者側も安心して事業を継続できるようになってきました。

みんなで協力して開催した相談会の様子です

・2024年12月22日

三重県 Suzukame Amigos と共同開催による亀山みらいの相談会

クリスマス相談会は今年で3年目となりました。午前中の部は医療相談会をメインに相談者が訪れ、毎年このシーズンを楽しみにされると嬉しそうにされている親子の姿が印象的でした。回を重ねるごとに、会場も大きくなり、MAIKEN の相談会だけでなく、愛知県の東海ヘルpline、横浜の LAL 命の相談電話、保護犬、猫活動のわんにゃんプロジェクトの方々も相談会のメンバーとして協力して支援活動を行いました。MAIKEN の医療相談は医療相談、こころの相談、シャーガス検査、血糖値の検査者の総数で38名あり、来場者数は成人89名でした。イベントは夜まで続き、クリスマスの軽食やサンタさんからのプレゼント、ゲームなど楽しく笑顔になれる1日となりました。MAIKENからは、新たに会員となった子供保育の専門家の矢五田さんがボランティアで参加をし、遊びを通じて学習の大切さを保護者の方に伝えました。MAIKENの活動を続けていく中で、医療だけでなく、多方面の専門家の方が積極的に参加してくださるようになり、長期にわたり活動を続けていくことの重要性を実感しています。

伊勢新聞にクリスマス相談会の様子が掲載されました



クリスマス相談会は、お子さんの参加が40名を超えました。日本の方の参加も多く、バンドの生演奏や、保育の専門家が着ぐるみを着て子供たちと遊ぶ中で、知り合いの輪が広がりました。当初 MAIKEN と Suzukame Amigos で開催したクリスマス会は、現4団体が新たに参加し、計6団体が協力して支援活動をしています。日本人も外国籍の方もお互いを理解することで、地域の発展につながることが実感できた1日でした。

・2025年3月22日

岐阜県大垣市 Suzukame Amigos と大垣市 GRUPO DE APOIO-MAOS QUE SE AJUDAMとの協同開催による アセンブレイア デ デウス教会における相談会

昨年度に続き今年度も岐阜県大垣市で相談会を開催しました。GRUPO DE APOIO-MAOS QUE SE AJUDAM のメンバーははブラジル料理や手芸品などを作成販売して、癌などの難病を患い、治療費の支払いなどで生活が困難になっている家族を支えている団体です。今回は、地域の方が集まりやすい教会を会場したため、参加者数も75名（成人）と多数の方が訪れました。母国語でこころの相談をしたいという事前の希望を得て、精神科医、臨床心理士が現地で参加するほかオンラインでも対応の3名の専門家で相談を受け付けました

Gratidão pela participação de todos 🙌❤️
Gratidão a ONG SuzuKame amigos a NPO Maiken e LAL (Linha de Apoio aos Latinos)
Nossos agradecimentos a equipe médica 🩺 e a toda comunidade pelo comparecimento 🙌❤️



教会の牧師さん達は地域の要となるコミュニティリーダーであり、その方たちが呼びかけ MAIKEN スタッフを信頼してくださることで、これまで誰にも言えなかったこころの悩みを打ち明ける相談者の方が複数いました。家族にすら打ち明けられないこころの辛さを話すことが出来、少しだけ心が軽くなれる場を作ることが出来ました。

また、三浦理事長によるコロナ後遺症とシャーガスや生活習慣病を防止する必要性のミニワークショップは、参加者の方からの丁寧に質問に答えながら和気藹々と進み、日頃の不安を解消し、心配事を抱えている方には引き続きオンラインでの相談を案内し、また来年度の相談会の開催を約束して笑顔のあふれる相談会となりました。

そのほか、三重県亀山市、滋賀県湖南市の相談会、愛知県犬山市相談会、静岡県菊川市、浜松市などラテンアメリカ系が多く住む地域での相談会を開催しました。地域によって抱えている問題は少しづつ違いますが、共通していることは外国籍住民の高齢化と日本で生まれ育った子供たちの教育問題です。30年以上日本に住んでいても、いまだに医療機関にかかる際には不安を抱える方が多く、言葉の問題によって十分な治療を受けられなかったり、誤解が生じたりしている事例が数多くありました。地域で安心して健康に暮らすために、母国語で医療専門家に相談をし助言を受けられる相談会を今後とも開催を続けます。

▶MEICIS 臨床心理士 5年に渡る支援活動を支えてくださった小野坂先生からのメッセージ

NPO 法人 MAIKEN と協働して開催しているこころの相談室について、報告をさせていただきます。5 年間の相談件数は延べ 339 件で、相談者の 7 割が女性、年齢分布は 2 峰性を認め、10 代が最も多く 28% を占め、次いで 40 代、30 代がそれぞれ約 20% でした。相談者の 6 割が通訳を要し、相談内容は抑うつや不安など気分の障害が最も多く、次いで子どもの発達に関する悩みが挙げられました。3 人に 2 人は複数回相談を受けられています。日本で生まれ育った移民の子孫である 10 代には思春期特有の悩みや不明瞭な将来への不安が多く、家族間葛藤や学校への不適応に起因する二次的な気分の障害がみられました。2 国間のルーツに由来するアイデンティティの摩擦によりメンタルヘルスの問題を抱えている方は全年代でみられ、相談者自身がアイデンティティの問題を知覚し、自身で考察して向き合う力を後押しする必要があると考えられます。また、すでに精神科に受診していても個人の背景に理解を得ることは難しく、言語だけでなく文化に対応した精神療法の併用が望ましいと言えます。

▶20 年以上支援を続ける MAIKEN ボランティア医師 Dr.George Ito カーのメッセージ

Desde o ano passado tenho ido, junto com a NPO MAIKEN a vários lugares no Japão para ajudar os com unidades e estrangeiros vivendo aqui.

Problemas médicos, psicológicos e de adaptação à vida no Japão são os principais temos que vi no último ano

Os problemas médicos são principalmente ao não entendimento idioma do Kanji e idioma, problemas os comunicação entre médico e pacientes. O modo de pensar do médico e do paciente são diferentes.

A parte psicológica também tem seus desafios causados pela distância da terra natal, solidão, laços afetivos e familiares distantes e ambiente de trabalho estressante.

Se possível pretendo continuar ajudando a NPO para que os estrangeiros possam se adaptar melhor ao Japão e com isso sejam mais produtivos no trabalho e melhor contribuem com a sociedade japonesa.

（訳：昨年度も NPO MAIKEN と共に、様々な在住外国人集住地区において支援活動を行いました。

昨年私が目にした主な問題は、医学的、精神的、そして日本での生活への適応に関する問題でした。医療上の問題は、主に漢字や言語の理解不足、そして医師と患者の間のコミュニケーションが円滑に図れないという問題に起因しているといえます。医師側と患者側で受け止め方も考え方も異なっています。また、精神的な問題も同様です。生まれ故郷から遠く離れていること、孤独感、家族やいたしい人の心の繋がりが薄いこと、さらにはストレスの多い職場環境などによってこれらの問題が生じています。今後も可能な限り NPO を支援し続け、定住する外国人住民が日本の社会や生活にうまく適応し、仕事の生産性を高め、日本社会に貢献できるような人材となるように支援していきたいと考えています。）

Facebook で相談会の様子を現地のキーパーソンの方が掲載しています、リンクをご希望の方は、MAIKEN までお問い合わせください

MAIKEN をご支援下さった全ての方、外国にルーツがある人々への支援活動応援助成を頂いた中央共同募金会様に感謝を申し上げます。次の相談会も皆様のご参加をお待ち申し上げます